

ヘルスケアネットワークが主催する「第22回安全と健康を推進する協議会Ⅱ両輪会」が7月6日、大阪府トラック総合会館で開催される。今回のテーマは「運輸業における睡眠管理のあり方について」点呼時における睡眠確認の義務化とどう向き合うか。

運転者の睡眠不足による事故防止を目的に、6月から点呼時の記録事項に睡眠状況が追加された。また運転者が順守すべき事項として、睡眠不足で安全な運転ができない恐れがあるときは、申し出ることも追加された。睡眠時間には個人差があり、睡眠の質を的確に自身で認識することは困難であるため、管理者が日常的に適切な対応を行うことの難しさも感じられる。不規則勤務の多いドライバーにとって睡眠は生命線とも言え、正しいドライバー向けの睡眠教育

ヘルスケアネットワーク「両輪会」

7月6日は大阪、25日には埼玉で開催

が不可欠といえる。「運輸業における睡眠管理のあり方」について考える絶好の機会となる。大阪会場の申し込み締め切りは29日。

また、7月25日には埼玉でも両輪会が開催される。埼玉会場は、ロケットビジネス支援機構(Robizy)、三井住友海上火災保険との合同開催。テーマは、トラック・バス・タクシー事業者のための「先端技術を活用した働き方改革セミナー」生産性向上、ドライバーの健康管理と事故防止の実現に向けて。両輪会のほか、最新の機器やシステムに触れる体験会や個別相談会も開催される予定。会場は、さいたま市の新都心ビジネス交流プラザで、申し込み締め切りは7月18日。

詳しくは同法人のホームページまで。
(木村麻理奈)

(レイアウト・中野秀二)